

表 25 シルバー病院入院患者の入院経路と退院先（平成 19 年 9 月 1 日～30 日）

入院前の場所（どこから）

新入院患者 総計	88人
他機関からの入院	73人
医療機関	41人
老健	10人
特養	7人
ケア付住宅	11人
その他施設	4人
自宅（※1）	15人

退院後の行き先（どこへ）

退院患者 総計	95人
他機関への退院	56人
医療機関	10人
老健	13人
特養	9人
ケア付住宅	15人
その他施設	9人
自宅（※1）	39人

※1：「自宅」には病院・一般診療所への通院、在宅医療も含む。

資料：シルバー病院資料より明治安田生活福祉研究所作成

表 26 シルバー病院入院患者の疾患別割合（平成 19 年 9 月）

	人数	割合(%)
脳卒中	27	30.7
心疾患	1	1.1
癌	1	1.1
糖尿病	5	5.7
骨折	5	5.7
その他	49	55.7
合計	88	

資料：シルバー病院資料より明治安田生活福祉研究所作成

入院患者の疾患別割合をみると（表 26）、当院の設立目的からして当然の結果とはいえ、脳卒中患者が多いが、その脳卒中患者に限定し、入退院経路を見たのが表 27 である。これによると、他病院から転院してきた患者が 9 割近くを占め、一方退院先は自宅が 7 割弱となっており、急性期治療を終えた患者のリハビリ実施と、在宅復帰に繋げるといふ、当院の目指す機能が果たされている様子がより鮮明に判る。

このように機能が発揮しやすい要因として、リハビリスタッフを充実させたこともさることながら、これと平行してパス策定や運営に関わるなどで、地域連携に取り組んできたことが、患者の入退院を円滑にし、より一層機能が発揮しやすくなったという。